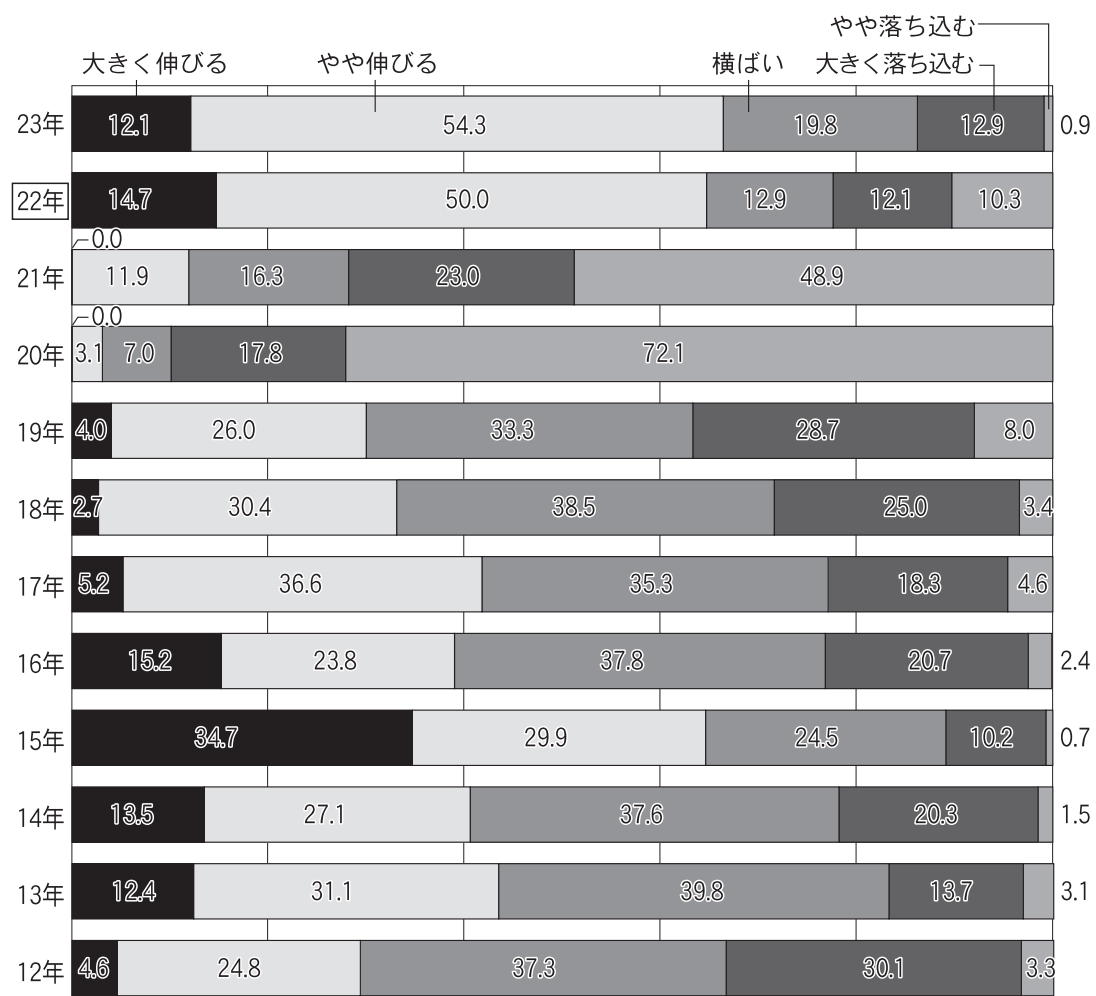


2023年、今年を「観光V字回復の年」に

観光経済新聞社が実施 旅館・ホテル経営アンケート調査

業績 2012~2023年

単位(%)



業績「伸びる」6割超に

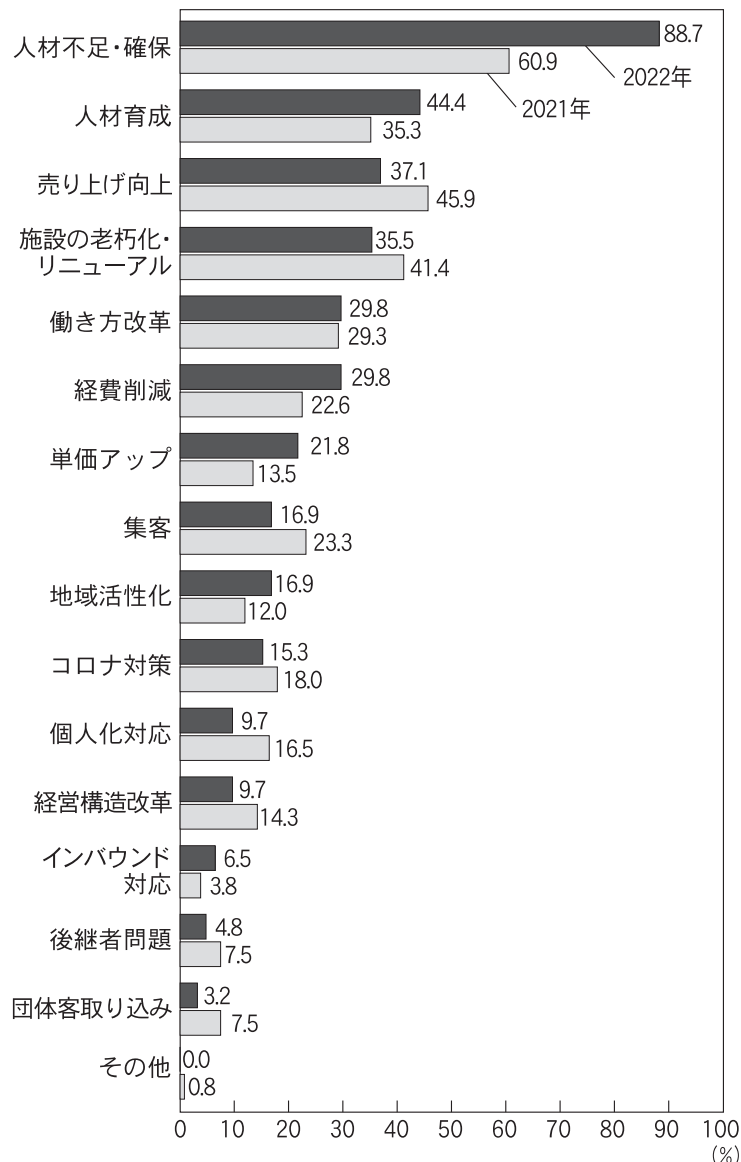
観光経済新聞社は、日本旅館協会会員などの旅館・ホテルに対する経営アンケート調査を実施した。2023年の業績(見込み)について、「大きく伸びる」または「やや伸びる」という回答は前回1割ほどにすぎなかったものが6割超まで拡大。コロナ禍で大きな影響を受けていた旅館・ホテルの業績が大きく回復していることが分かった。

業績の回答は、「大きく伸びる」も減って10.9%となった。「横ばい」は23年の業績見込みについて「やや落ち込む」「大きく落ち込む」が12.1%、「やや伸びる」が54.3%、「大きく伸びる」が12.1%の5つの選択肢から「大きく伸びる」の回答は前回11.9%から52.8%増となる64.7%へと大きく拡大した。

「横ばい」は3.4%減の19.8%、「やや落ち込む」は10.9%減の12.1%、「大きく落ち込む」は38.6%減の12.9%に減少した。前回は「大きく落ち込む」は38.6%、「横ばい」は38.6%、「やや落ち込む」は12.1%、「大きく伸びる」は12.1%の4つの選択肢から「大きく伸びる」の回答は前回11.9%から52.8%増となる64.7%へと大きく拡大した。

「横ばい」は3.4%減の19.8%、「やや落ち込む」は10.9%減の12.1%、「大きく落ち込む」は38.6%減の12.9%に減少した。前回は「大きく落ち込む」は38.6%、「横ばい」は38.6%、「やや落ち込む」は12.1%、「大きく伸びる」は12.1%の4つの選択肢から「大きく伸びる」の回答は前回11.9%から52.8%増となる64.7%へと大きく拡大した。

経営の課題 全体



経営の課題

トップは「人材不足」  
2位「人材育成」

調査の概要

この調査は、日本旅館協会の会員などの旅館・ホテルに対して往復アンケートはきを2022年11月に郵送し、①前年の業績見込み②23年の業績見込み③経営の課題④旅行会社、OTA、直販の各客販売比率などについて聞いた。回答数は1,244軒。客規模別では「10~30室」が23軒、「31~50室」が24軒、「51~75室」が20軒、「76~100室」が20軒、「101室以上」が37軒だった。

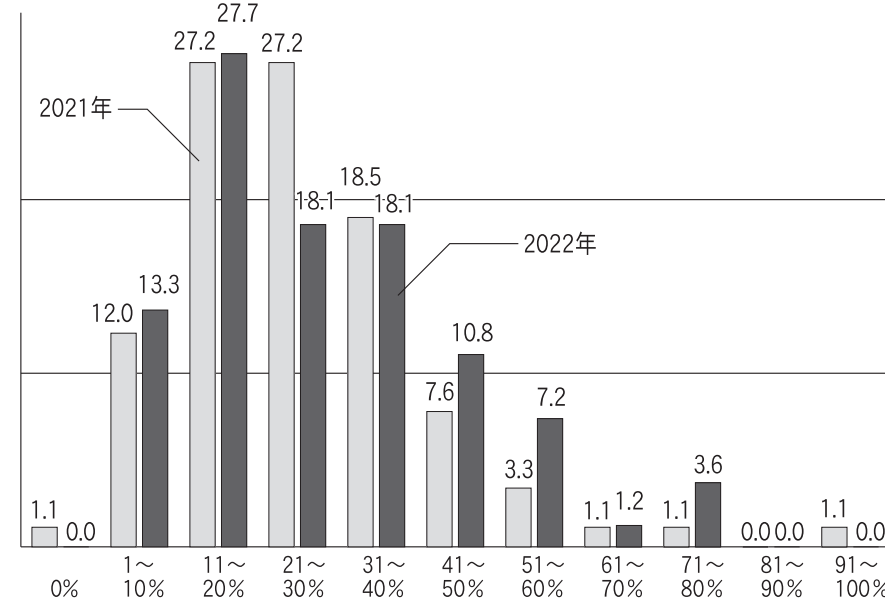
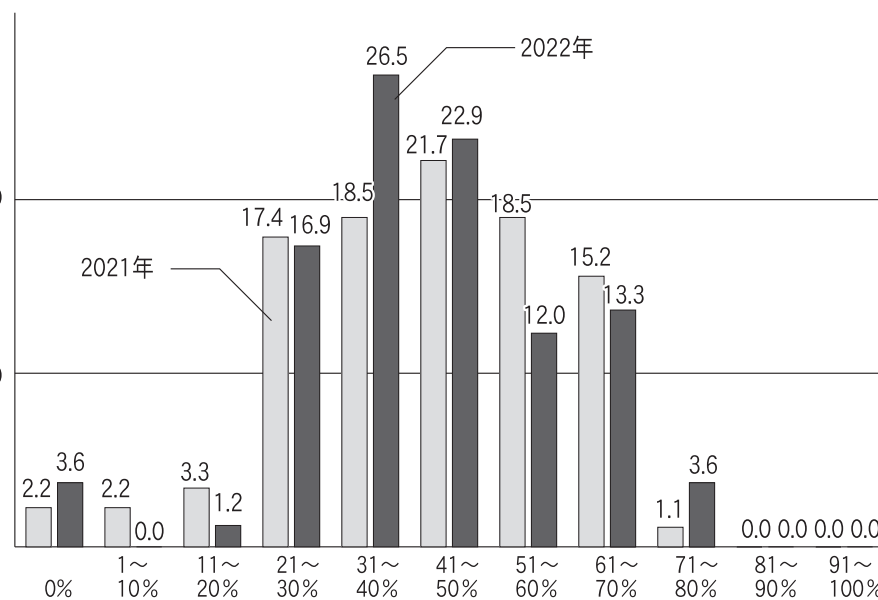
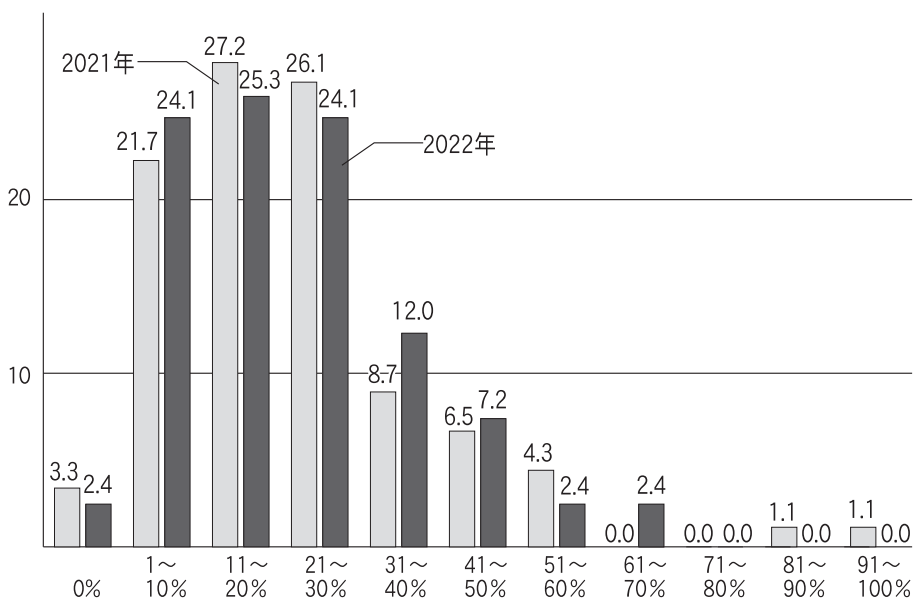
「人材不足」(44.4%)、「経費削減」(29.8%)、「働き方改革」(29.8%)、「単価アップ」(21.8%)、「集客」(16.9%)、「地域活性化」(16.9%)、「コロナ対策」(15.3%)、「個人化対応」(9.7%)、「経営構造改革」(9.7%)、「インバウンド対応」(6.5%)、「後継者問題」(4.8%)、「団体客取り込み」(3.2%)、「その他」(0.0%)という結果だった。

「人材不足」(44.4%)、「経費削減」(29.8%)、「働き方改革」(29.8%)、「単価アップ」(21.8%)、「集客」(16.9%)、「地域活性化」(16.9%)、「コロナ対策」(15.3%)、「個人化対応」(9.7%)、「経営構造改革」(9.7%)、「インバウンド対応」(6.5%)、「後継者問題」(4.8%)、「団体客取り込み」(3.2%)、「その他」(0.0%)という結果だった。

旅行会社経由

OTA経由

直販



「100年も先のことは、わからない」  
なんて言うのはやめよう。  
そう決めました。



サントリー  
天然水の森  
PROJECT.

サントリーの天然水は、森に降った雨が、  
およそ20年かけて  
森の大地でゆっくり濾過され、  
ミネラル分を授かって  
おいしくなった地下水。  
健やかな森の力を借りて生まれます。  
天然水を未来につなぐために、  
森を元気にする。  
それが私たちの大事な仕事になりました。  
これからも、ずっとずっと  
水と生きていきますように。

水と生きる SUNTORY

天然水の森 検索

